

令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	4	学校名	西の京高等学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 「令和2年度課題研究Ⅰ・地域フォーラム」

2. 取組概要

- ・大亀谷国有林の活用と整備：奈良森林管理事務所、地元自治会などとの協働。
- ・観光イベントの活性化：NPO法人なら燈花会の会との連携・協働。
- ・地域フォーラムの開催：「課題研究」の成果を地域の方々の参加のもとに開催。

3. 特徴

- ・六条小学校区自治連合会を中心とする関係諸機関、奈良市、奈良県などと連携。
- ・地域の課題を研究対象に、本校の2年生が「課題研究」に取り組み、その成果発表会を『地域フォーラム』と題して本校体育館を会場に開催。
- ・『地域フォーラム』には、コロナ禍にもかかわらず、地元自治会の住民の方々を中心に約80名の参加者があり、生徒たちの発表に対して「質疑応答」も行う。

4. 成果、課題

- ・「課題研究」では、数年前から「活動の継続性」を重視して地域との連携の強化を図ってきた。上記の取組概要に示す活動は、継続的な活動により内容が深化し、地域の理解と協力を得ている事業である。質疑応答では、地域活動に対するお礼の言葉や、今後の発展的な活動へのアドバイスなどのご意見をたくさんいただいた。
- ・生徒たちにとっては、高校に入って初めて取り組む内容である。指導者側は「継続性」を重視するが、生徒たちに「過去の蓄積」はない。生徒たちの思考は浅いので、質疑応答に備え、敢えて深い想定質問・回答を準備するよう指導した。結果として、地域フォーラム時での質疑に対し、柔軟な対応ができており、生徒たちの実践力が向上したように思う。

5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

- ・本事業は地域の方々の協力があって成立している。新指導要領の「探究」学習を先取りした活動で、地域との連携の重要性を実感している。しかし地域の力の活用がコミュニティ・スクールであるが、この協力体制の構築は一朝一夕にはできない。地道な活動の積み重ねと、地域への広報が必要である。本校は2年後に閉校となるので、今後の推進・発展はないが、最後まで地域との協働に重きを置き、地域との「つながり」を大切にしていきたいと考えている。



「大亀谷国有林整備」の記念写真



「燈花会 in 西高」の様子



「地域フォーラム」発表の様子